

第3回「2025 桃源国際芸術賞」 4月応募開始 賞金総額 155万台湾ドル

桃園市立美術館が主催する第3回「2025 桃源国際芸術賞」は、2024年4月1日から4月26日まで応募を受け付けます。応募資格は国籍、年齢、個人、団体を問わず誰でも参加することができ、初めて正式に公開する台湾の公的なコンクールで受賞歴のない新規の作品を募集します。作品応募の詳細については公式サイト：tmofa-tiaa.comをご確認ください。

「桃源国際芸術賞」は、2001年にその前身である「桃源創作賞」が開催され、台湾で最も重要な現代アートコンペティションのひとつです。2020年、桃源創作賞は第1回「2021 桃源国際芸術賞」として正式に生まれ変わり、国際審査員を迎えて2年に1度の頻度で開催されており、募集範囲を全世界に広げて、国際的な芸術文化交流を強化していき、芸術研究と創作の基礎を培っています。今回は、最優秀賞である「桃源賞」の受賞者1名に賞金60万台湾ドル、「優選賞」の受賞者3名にそれぞれ賞金20万台湾ドルが贈られ、その他「遊芸賞」として台湾人参加者1名が選ばれ、国際的な視野を広げるために35万台湾ドルが補助されます。

桃園市立美術館の館長代理である王麗娟氏は「この賞は、国際的な芸術ネットワークとグローバルなビジョンを構築するために行われている年2回の展覧会プログラムであり、世界の現代アートの異質性を奨励するだけでなく、現代的な視点で国際的なクリエイティブ作品の発掘に力を注いでいます。芸術の形態や文化の境界を広げるため、媒材を制限しない応募システムに加え、国際的な審査員による応募作品の審査が賞の重要な特徴となっています。」と述べました。

様々な分野で活躍する国際的な審査員が世界各国からのコンペ作品を選出

今年の国際審査員は、桃園市立美術館の館長代理である王麗娟氏が招集し、一次選考委員のメンバーとして、米国サンフランシスコのアジア芸術美術館 (Asian Art Museum of San Francisco) 現代アート部門チーフ・キュレーターの陳暢 (Abby CHEN)、オーストラリアのクイーンズランドアートギャラリー (Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art) アジア現代アート・キュレーターのルーベン・キーハン (Reuben KEEHAN)、韓国ソウルのアートソングセンター (Art Sonje Center) 芸術總監の金宣廷 (Sunjung KIM)、台湾デジタル芸術基金会芸術總監の王柏偉 (Po-Wei WANG)、台湾台北教育大学副教授の呂佩怡 (Pei-Yi LU) を招き、最終選考に残った作品を共同で審査しました。

陳暢は長年アメリカベイエリア、アジアと世界との関係に注目しており、民族、ジェンダー、都市化の課題に取り組みながら、中国の実験的コミュニティと密接に関わるコミュニティベースやパブリックアートプロジェクトをキュレーターとして活躍しています。**ルーベン・キーハン**は、アジア・パシフィック・トリエンナーレのキュレーターを何度も務め、近年では、台湾・オーストラリア交流が推進する第10回アジア・パシフィック・トリエンナーレの重要展示プロジェクト「天と地の間で-台湾先住民現代アート特別展」に参加し、台湾先住民族委員会及び文化部との協力のもと、台湾先住民族による現代アート初の国際学術展を行いました。**金宣廷**はかつて光州ビエンナーレ基金会の主席を務め、現在は韓国ソウルのアートソングセンターの館長を務めており、イギリスの現代美術雑誌『Art Review』で世界のトップ100アーティストのひとりに選ばれ、韓国の現代アートの顔を形成する重要な人物のひとりです。**王柏偉**は台湾の若手・中堅世代のキュレーター、アート評論などの研究者であり、メディア論とテクノロジー・アートを専門とし、現在は台湾デジタルアート基金会の芸術総監を務めています。**呂佩怡**は台湾台北教育大学の現代美術批評やキュレーター研究修士課程の准教授であり、パブリックアートの実践やキュレーションに長年取り組み、国際的な研究書なども多数出版しています。

桃園市立美術館について

現在建設中の桃園市立美術館は、桃園市政府機関が複数の美術館を運営する「一機関複数館」の方式で開発されており、桃園市中壢区青埔にある大美術館（本館）に加え、2021年10月に現代書道アートをテーマとして開館した「横山書道芸術館」、2024年4月にオープンを予定し、芸術・文化を根付かせ、美的教育の発展を促進すること目的とした家族向けの「桃園市児童美術館」（青埔館）などがあります。現在、桃園市立美術館はさまざまなアートプロジェクトを通じて、将来の運営に向けて準備を進めており、本館は日本の山本理顕設計工場と台湾の石昭永建築師事務所による共同のプロジェクトで建てられ、周囲の自然環境と近隣地域の「丘」の形状を融合させた外観となっています。この美術館は2026年を完成予定とし、将来台湾において重要な国際芸術交流の場となる予定です。

2025 桃源国際芸術賞

応募期間：2024年4月1日至4月26日

応募要項ダウンロード：<https://tmofa-tiaa.com/>

桃源国際芸術賞：<https://tmofa-tiaa.com/>

桃園市立美術館：<https://tmofa.tycg.gov.tw>

メディア情報リンク：<https://tmofa.com/art00URNBB>

メディアお問合せ

固夏公関 Good Shot PR

簡湘庭 Alice Chien

htchien22@gmail.com

+886 983 093 161

呂学卿 Shueh Ching Lu

sanllydon@gmail.com

+886 912 397 029

メディア用解説一覧

#	画像の説明	画像
01	2025 桃源国際芸術賞のメインビジョン。桃園市立美術館提供。	
02	第3回「2025 桃源国際芸術賞」に招かれた一次選考国際審査員メンバーの陳暢、ルーベン・キーハン、金宣廷、王柏偉、呂佩怡。桃園市立美術館提供。	
03	国際審査員メンバー - 米国サンフランシスコのアジア芸術美術館 (Asian Art Museum of San Francisco) 現代アート部門チーフ・キュレーターの陳暢 (Abby CHEN)。Asian Art Museum 提供。	
04	国際審査員メンバー - オーストラリアのクイーンズランドアートギャラリー (Queensland Art Gallery Gallery of Modern Art) アジア現代アート・キュレーターのルーベン・キーハン (Reuben KEEHAN)。桃園市立美術館提供。撮影 / Joe Ruckli。	

#	画像の説明	画像
05	国際審査員メンバー - 韓国ソウルのアートソングェセンター (Art Sonje Center) 芸術総監の金宣廷 (Sunjung KIM) 。桃園市立美術館提供。	
06	国際審査員メンバー - 台湾デジタル芸術基金会芸術総監の王柏偉 (Po-Wei WANG) 。桃園市立美術館提供。	
07	国際審査員メンバー - 台湾台北教育大学副教授の呂佩怡 (Pei-Yi LU) 。桃園市立美術館提供。撮影 / 陳佩芸。	
08	桃園市立美術館(青埔) は 2026 年の完工予定。桃園市立美術館提供。	